

研究種目： 基盤研究（C）
研究期間： 2007～2010
課題番号： 19520578
研究課題名（和文） 鎌倉幕府の平和政策に関する研究

研究課題名（英文） Research on peacekeeping policy of the Kamakura Shogunate

研究代表者

川合 康（KAWAI YASUSHI）
日本大学・経済学部・教授
研究者番号：40195037

研究代表者の専門分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：治承・寿永の内乱、鎌倉幕府、源平合戦、吾妻鏡、平家物語、戦争、平和

1. 研究計画の概要

(1) 本研究は、現代社会において大きな国際問題となっている「戦争」と「平和」の問題を、歴史的に理解するために、戦争終結後の平和状態がどのように実現・維持されたのかについて、考察することを目的とする。

(2) 歴史的な研究対象としては、鎌倉幕府の平和政策をとりあげ、治承・寿永内乱期の戦争から形成された鎌倉幕府権力が、いかなる政策や行事の遂行によって、内乱期の敵・味方の関係を清算し、平和状態を実現・維持していったのかについて解明する。

(3) 具体的な検討内容としては、Ⅰ「敵方武士の赦免の問題」、Ⅱ「敵方張本の遺族の保護の問題」、Ⅲ「味方の戦死者遺族と負傷者の保護の問題」、Ⅳ「村落の勸農、復興政策」、Ⅴ「敵・味方を問わない鎮魂・供養」の5つの課題を設定し、史料収集と分析・検討を進める。

2. 研究の進捗状況

(1) Ⅰ～Ⅴの問題に関連する史料を、『吾妻鏡』・『保元物語』・『平治物語』・『延慶本平家物語』・『承久記』・『真名本曾我物語』などの編年史料・軍記物や、『平安遺文』・『鎌倉遺文』・『大日本史料』収載の古文書類、『玉葉』・『山槐記』・『吉記』・『明月記』などの古記録類から検索し、収集・整理を行った。

(2) Ⅰ「敵方武士の赦免の問題」については、奥州合戦後の建久年間（1190～1199）以降、幕府によって敵方武士の赦免や御家人登用政策が進められ、特に建久7年(1196)の平知忠誅殺後に明確な方針として決定され、それが後世にも尊重されていたことが判明した。

(3) 平氏の有力家人の赦免という点から注目

される平貞能については、文献史料の収集とともに、茨城県那須塩原市の妙雲寺、京都市京都市の峰定寺などの現地調査を行い、貞能の母が東国の宇都宮氏の出身で、東西武士の親密な交流が、敵方武士の赦免という政策を根底で促していたことが明らかとなった。

(4) Ⅱ「敵方張本の遺族の保護の問題」については、幕府によって木曾義仲の妹や奥州藤原秀衡の妻などが鎌倉に招かれて、手厚く保護を受けており、それが反乱の再発防止の意味をもっていたことが判明した。

(5) Ⅲ「味方の戦死者遺族と負傷者の保護の問題」については、内乱の最中から、幕府は注文に基づいて戦死者・負傷者の把握に努め、その保護を進めていたことが確認された。

(6) Ⅳ「村落の勸農、復興政策」については、戦線が西国に移動した寿永3年(1184)の時点で、まず東国・北陸地域において進められ、その後、全国に広く展開したことが判明した。

(7) Ⅴ「敵・味方を問わない鎮魂・供養」については、幕府は奥州合戦後からたびたび催しており、特に全国一斉に実施された建久8年(1197)の八万四千基宝塔供養は、頼朝が内乱の死者を阿育王になぞらえて鎮魂し、権力の正当性を主張したことが明らかとなった。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

具体的な検討課題であるⅠ～Ⅴについて、当初の計画通り、平安時代末期から鎌倉時代前期にかけての史料はほぼ収集し終わっている。次年度は、これまでに得られた知見や見通しを検証し、より確かな歴史像を提起できるように、それらの史料の読み込みと分析

を進める予定である。

4. 今後の研究の推進方策

(1) これまでの研究期間に収集したⅠ～Ⅴの関連史料を、次年度は詳細に分析・検討して、鎌倉幕府権力の成長過程に即してそれを位置づける作業を行う。

(2) これまで検索対象としてこなかった史料類にも目を配り、より網羅的に史料検索と収集を進め、鎌倉幕府の平和政策に関する基礎的事実を明確にしていく。

(3) 学会などにおいてこれまでの研究成果を積極的に発表し、他の時代の研究者との議論や交流のなかで、「戦争」と「平和」の歴史的理解をより深めていく。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計1件)

①川合康、鎌倉街道上道と東国武士団、府中市郷土の森博物館紀要、23号、19～33、2010年、査読有

[学会発表] (計1件)

①川合康、鎌倉幕府・戦争・『平家物語』、宮城歴史科学研究会、2009年5月10日、仙台市戦災復興記念館(宮城県)

[図書] (計7件)

①川合康、吉川弘文館、日本中世の歴史 源平の内乱と公武政権、2009年、322ページ

②川合康、吉川弘文館、歴史と古典 平家物語を読む、2009年、1～30・137～156

③川合康、岩田書院、地域社会からみた「源平合戦」 福原京と生田森・一の谷合戦、2007年、13～67

[産業財産権]

○出願状況(計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

○取得状況(計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

[その他]